



小林 長子さん
(塩野)

今も活発に噴火活動を続けている浅間山、四季折々の移りゆく風景は、町民に愛される町のシンボルです。雄大で圧倒的な存在感があります。

私は町内で生れ育ち、専業農家に嫁いで三十年余りが過ぎ、男性の仕事だと思っていた農業委員をやらせて頂き、一年半になります。

最近女性の地位向上とよく耳にしますが、町でも女性の地位向上に理解を頂き各分野で活躍されています。女性委員の取り組みとして食育や直売所等があります。現在町でも幾つかのグループがあり、地産地消として、次代を担う子供達のため安

全・安心の食材を使い、自校方式のおいしい給食が提供されています。食育の第一歩は各家庭で、子供達に朝食を食べさせる事から始めてほしい。朝食をしっかりと食べる人は、勉強も仕事も根気よくできるという調査結果もあるそうです。

食育で子供達に学んでほしい事は、今の飽食の時代の中、食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々に感謝をする気持ちと基本的な食事のマナーを身に付け、社会人になっても輝く自分

になってほしい。

地域の特徴を活かした直売所がいくつもありますが、会員の高齢化・品数・営業日等問題点が出始めました。先進地の成功例を視察し、研究して御代田町の特徴を活かして、女性の力を結集できる、「道の駅」のよ

うな方向へ協力していけたらいいと思います。この目標を達成するには、町・議会・農業委員を初め多くの女性と町民が力を合せていくことが大事だと思います。



塩野 中山間地直売所



8月30日に衆院総選挙となり、町議会議員選挙は予定を一週間繰り上げて同日選挙が行われ、定数14名のうち新人6名が当選した。

後記の6人と正副議長で議会だよりを編集することになった。

「わかりやすく、親しまれる議会だより」を目標に委員一同頑張りますので、お読み頂き、ご指導、ご意見をよろしく願います。

今年、世界不況の影響が昨年以上に、大波となって来て難儀している。国、県、町も力を合わせて、景気対策をしている所だが、効果は余り出ていないように思われる。省エネ家電やエコカー補助金などは、高い商品を買った人に対する補助なので、食べていくのさえないへんな経済弱者に対して、もっと手厚い補助をしてほしいものだ。

新型インフルエンザも、夏、秋と感染者数を増やし、冬になって、大流行の心配がある。皆様も、ワクチン接種や、手洗い、うがい、マスクを励行して自衛し、健康に注意して、住みよい町づくりのために御協力をお願いします。

古越 日里

議会だより編集委員会

- 委員長 古越 日里
- 副委員長 小井土 哲雄
- 委員 野元 三夫
- 茂木 勲
- 池田 健一郎
- 市村 千恵子
- 内堀 恵人
- 柳澤 治